

傷の共有(インジュリー・シンクロナイズ ; *Injury Synchronize*)

自身の体につけた傷を、対象者の同一部位に同時に発生させる超能力。一般的に言われるところの「超能力」に挙げられることはあまりないが、[リゾスレ](#)独自の創作というわけではない。英語表記は直訳すると「怪我(injury)が同時に起こる(synchronize)」であり、こちらに関しては先述のスレ内のみで使われる造語である。

使用者(能力保持者)

・ [亀井絵里](#)

初出は[Sayu-Eri\(01\)203 『傷と癒し』](#)

- ・ 自身の体が傷つくことで初めて発動するため、大きなリスクを伴う能力と言える。ただし、ひとたび発動すれば相手には回避の手段はなく、その意味では最強と言えるかもしれない。
- ・ 一度に傷を共有させることのできる人数や、その射程距離は不明。
- ・ 能力の特性上、戦闘においては治癒能力を持つ[道重さゆみ](#)と組んで行動することが多い。
- ・ この能力同様、生まれつき心臓に病を抱えているが、両者の因果関係は不明。
- ・ 共有するだけでなく、傷を対象者間において自在に移動することができる描写がある作品も見られる。
- ・ 使いにくさ故か、能力が発動しているシーンを描いた作品は少なめ。

「傷の共有」が登場する作品例

- ・ [Sayu-Eri\(01\)704 『共鳴する心とチカラ』](#)
- ・ [Kamei\(02\)725 『絵里過去編～今生きている幸せ～』](#)
- ・ [6th\(12\)934 『異能力 - Weight of life - \[3 \] 』](#)・・・等